

スミチオン®NP-FL「SES」

「スミチオン®NP-FL「SES」」は低毒性で優れた殺虫効力があり長年の使用実績を持つ有機リン系殺虫剤のフェントロチオンと、低毒性で優れた速効性を有するピレスロイド系殺虫剤のフタルスリンの水性懸濁剤(フロアブル剤)です。水性製剤であることから従来の乳剤に比べ作業時の刺激性が少なく、低臭性であり、更に引火性が無い等の優れた特長を兼ね備えた殺虫剤です。

成分・分量

- フェントロチオン 5.0%
- フタルスリン 0.5%
- その他6成分

性状

- 乳白色のやや粘性のある液。

特徴

- ① **低臭性・低刺激**
水性懸濁剤ですので、乳剤に比べ溶剤に起因する刺激臭が抑えられています。
- ② **非危険物**
水性懸濁型乳剤で引火性がなく、消防法に該当しないので、運搬や保管が容易です。
- ③ **優れた効果**
優れた速効性と残効性を有します。



スミチオン[®]NP-FL「SES」

【用法・用量】

目的に応じて水で希釈し、一般に害虫の生息または発生場所に対して使用する。

ハエ・蚊成虫

直接散布：通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。

残留噴霧：1m²につき10倍液25～50mLをハエや蚊のよく止まる天井や壁等の全面にあらかじめ噴霧する。

ハエ幼虫（ウジ）

1m²につき200～400倍液2Lを幼虫の発生場所に散布する。ゴミや堆肥の場合は、よく内部までしみ込むように、400～800倍に希釈して散布量を2倍とする。

蚊幼虫（ボウフラ）

発生場所の水量1m³につき本剤の20mL（有効成分1.1ppm）を、適宜水で希釈して散布する。

ゴキブリ（油虫）、マダニ

1m²につき10倍液50mLの割合で、重点的にゴキブリ、マダニの潜み場所あるいはよくはい回る場所に残留塗布又は噴霧する。

ノミ、ナンキンムシ、イエダニ

1m²につき10倍液50mLの割合で使用する。

【安全性及び環境影響情報】

安全性

急性毒性 ラット経口 LD50 ♂♀ >2,000 (mg/kg)

ラット経皮 LD50 ♂♀ >2,000 (mg/kg)

環境影響情報

魚毒性

（有効成分 フェニトロチオンについての情報）ニジマス LC50 1.3mg/L (96hr)

（有効成分 フタルスリンについての情報）ニジマス LC50 0.0037mg/L (96hr)

【効 力】

イエバエ成虫に対する直接噴霧試験

ガラスポットに供試虫を放ち、45cmの高さの円筒の上方より、本剤の10倍希釈液を、スプレーガンを用いて噴霧し、10秒後にガラスポットと円筒の間を遮断していたすべり蓋を開放して供試虫に噴霧微粒子を10分間暴露した後、供試虫を回収し、新しい容器に水・餌とともに移した。その後、経過時間的に観察を行い、優れた効果が確認できた。

供試虫	時間経過に伴うノックダウン率(%)			KT50(分)	24時間後致死率(%)
	5分	8分	10分		
殺虫剤感受性イエバエ	10.0	51.7	73.3	7.85	100
有機リン系抵抗性イエバエ	0	33.3	68.3	8.75	100

【包 装】 18kg×1

SES 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社

〒541-0045

大阪府大阪市中央区道修町2-2-8

TEL 06-6223-7537

FAX 06-6223-7538

取り扱い代理店